

オーダーダー戦争

みつむら けいすけ

オーダー戦争

みつむら けいすけ

とある洋食店。テーブルを挟み椅子に腰かけている真中友美と伊吹舞。しげしげとメニューを見ているのは高峰玲奈。友美と舞は、ぼんやり窓の外を眺めている。

【登場人物】

真中 友美 「まなか ともみ」 (女) 高校一年生
伊吹 舞 「いぶき まい」 (女) 高校一年生
高峰 玲奈 「たかみね れな」 (女) 高校一年生
佐々木 薫 「ささき かおる」 (どちらでも) 洋食店の従業員

舞 ……まあ降ってきた。
友美 ……降ったり止んだりだよ。最近。
舞 本降りになる前に帰る。
友美 じゃ、早速頼もつか。
舞 玲奈、いいよね。
玲奈 (メニューを眺めながら) うん…。
友美 すいませーん。

上手から佐々木薫が出てくる。

薫 はい。
友美 注文お願いします。
薫 はい。
友美 えっと…。
玲奈 「シェフの気まぐれナポリタン」一つ。
薫 はい。「シェフの気まぐれナポリタン」お一つですね。
友美 え？
玲奈 え？
舞 え？

薫 え？

間。

友美 何で？

舞 そうだよ。

玲奈 え、何？

友美 何でナポリタン？

玲奈 いけなかった？

薫 正確には「シェフの気まぐれナポリタン」です。

玲奈 今日のシェフの気まぐれ加減を知りたいじゃない。

友美 は？

玲奈 え？

友美 どうでもいいじゃん。そんなこと。

玲奈 良くないよ。

薫 良くは、ないですね。

友美 だって、今日はパフェ食べに来たんでしょ？

玲奈 そうだっけ？

友・舞 そうだよ。

玲奈 え…でもウチ、ナポリタン食べたいし。

薫 正確には、「シェフの気まぐれナポリタン」です。

舞 そうなんだけど。

友美 ちょっと黙っててください。

薫 はい。

舞 あの、やっぱ後から注文します。

薫 かしこまりました。

薫、上手へハケる。

友美 違うでしょ。

玲奈 ん？

友美 今日ここに来た目的。

玲奈 そうだね。

友美 「スペシャルビックジャンボでらうまドスコパフェ」。

玲奈 そう。巷で噂の。

友美 今までにない味。

舞 食べた者が皆絶句する。

玲奈 奇跡のジャンボパフェ。

友美 玲奈が食べたいうって言うから来たんじゃない。

舞 うん。

玲奈 まあ、そうだね。

友美 でしょ？

舞 ビックリさせないでよ。

玲奈 や、ごめんごめん。「スペシャルビックジャンボでらうまドスコパフェ」、頼もう。

友美 うん。すいませーん。

上手から薫が出てくる。

薫 はい。

友美 注文お願いします。

薫 はい。

友美 えっと、この…。

玲奈 「シェフの気まぐれナポリタン」一つ。

友・舞 おい。

薫 あのお、大変申し訳ございませんが…。

玲奈 え？

薫 只今、シェフが機嫌を損ねております。

玲奈 まさか。

薫 「おら、ナポリタンだけは作りたくねえ。」と。

玲奈 うーん。気まぐれだねえ。

薫 申し訳ございません。

玲奈 いいよ。「気まぐれナポリタン」だもん。

薫 他のものでしたら、何でもお作りしますの。

玲奈 じゃあこの「シェフの欲張りペペロンチーノ」で。

薫 はい。「シェフの欲張りペペロンチーノ」お一つですね。

友美 ちよつと待って。

玲奈 何？

友美 何注文してんの？

玲奈 ペペロンチーノ。

友美 いや、そうじゃなくてさ。

薫 正確には、「シェフの欲張りペペロンチーノ」です。

舞 そうなんだけど。

友美 ちよつと黙っててください。

薫 はい。

舞 あ、やつば後から注文します。

薫 かしこまりました。

薫、上手へハケる。

友美 私ら、何しにここに来たの？

舞 パフェ食べに来たんでしょ？

玲奈 うん。

友美 「スペシャルビックジャンボでらうまドスコパフェ、

食べるんでしょ？

玲奈 食べるよ。「スペシャルビックジャンボでらうまドスコ

パフェ」。

友美 「スペシャルビックジャンボでらうまドスコパフェ」

を食べにここに来たんだよね？

舞 あ、のさ。

玲奈 そうだよ。「スペシャルビックジャンボでらうまドスコパ

フェ」を食べる為にここに来た。

舞 ねえ。
友美 何？
舞 長いからさ、略して話さない？ パフェの名前。
友美 ああ、そうだね。
玲奈 うん。囓みそう。
舞 じゃあそれで。
友美 ……えっと…今から、パフェを食べるわけだけど。
玲奈 うんうん。
友美 何。ペロンチーノ頼んじゃってんの？
玲奈 だって食べたいんだもん。
友美 あのねえ…。
玲奈 今何時？
舞 一時。
玲奈 ほら。
友美 何。
玲奈 パフェよりご飯を食べる時間でしょ。
友美 だから？
玲奈 パスタが食べたい。
友美 ちよつと待ってよ。
舞 パフェは食べないの？
玲奈 うん、やっぱいいや。二人だけで食べて。
舞 駄目だよ。
玲奈 何で？

舞 あたしなら、パフェ分のお金しか持って来てないよ。
玲奈 だから？
友美 玲奈が食べないなら余計に払わなきゃいけないじゃん。
玲奈 パフェっていくら？
友美 千五百円。
舞 一人五百円の予定だったじゃん。
友美 てか、玲奈が最初に言い出したんでしょ。
玲奈 何を？
友美 「パフェ食べたい」って。
玲奈 そんな時はパスタが食べたくなくなると思わないじゃん。
友美 責任取りなよ。
玲奈 じゃあお金だけ出すよ。パフェ食べないけど。
舞 それも駄目。
玲奈 何で？
舞 二人だけじゃ、食べきれない。
玲奈 いけるいける。
友美 無理だったの。
玲奈 じゃあパフェも食べるよ。
舞 それも駄目。
玲奈 うえー？ 何で？
舞 だって、パスタ食べたなら絶対パフェまで食べきれないって。
玲奈 残しちゃえ。
舞 それは絶対駄目。

玲奈 大丈夫だよ。
友美 だから。
玲奈 大食いの友美なら九割くらい食べてくれるでしょ。
友美 えっ？
舞 ああ、そっか。
友美 バカ。
玲奈 バカ？
友美 私、今ダイエット中なの。
舞 え、じゃあ何で食べに来たの？
友美 そりゃ二人に誘われたら…。
玲奈 どうせ続かないよ。
友美 うっさい。
舞 まあまあ。
友美 とにかく。私は今日、少しで抑えるつもりなの。
玲奈 つもり、か。
舞 つもり、ねえ。
友美 おい。
舞 じゃあ、パフェは注文するんだね？
玲奈 パスタは？
舞 パスタも。友美、頼むよ。
友美 駄目だって。食べきれないって。
玲奈 太れ太れー。ぶくぶく太れー。
友美 てめ。

舞 分かった。じゃあこういうのは？
玲奈 何？
舞 パフェ食べて、それでもいけそうなら。パスタを頼む。
友美 あ、それいい。
舞 これなら、パフェを食べきれなかったっていう心配はなくなる。
玲奈 それじゃ。パスタ食べれないじゃん。
舞 や、だから食べられそうなら。
玲奈 無理だよお。
友美 諦めな。
玲奈 じゃあさ、友美と舞も他のもの注文すればいいじゃん。
友美 何でそうなんのさ。
玲奈 パフェにこだわるから駄目なんだよ。
友美 私はパフェが食べたいの。
玲奈 ダイエットしてるんでしょ。
友美 それとこれとは別。
玲奈 どこが。
舞 あ、でもさあ。
友美 何？
舞 でも、玲奈の意見も一理あるよ。
友美 え？
舞 あたしらが諦めて、他のもの注文しない？
友美 何だよ。
舞 え、だって。

玲奈 あ。まさか、一番パフェを楽しみにしてたのは友美？
友美 べ、別にそんなんじゃないし。
玲奈 出たよツンデレ。
友美 違うわ。
舞 食べたいの？
友美 これはもう食べたいとか食べたくないの問題じゃないよ。
舞 何じゃそりゃ。
玲奈 頑固だなあ。
友美 頑固じゃない。
玲奈 頑固だよ。頑固じじいだよ。
友美 うっさい。私はまだピチピチじゃ。
玲奈 ほら、「ピチピチ」なんて今時言わないよ。
友美 はあ？
舞 ちよつと、玲奈。
玲奈 そうゆうところが古臭いの。友美じいさん。
友美 違う。それを言うなら、ばあさんでしょ。
舞 そこ？
玲奈 とにかくもうお腹限界。先に注文した方が勝ちね。
友美 え、何それ。
玲奈 すいませーん。

上手から薫が出てくる。

薫 はい。
友美 えつと、「スペシャルビックジャンボでらうまドド…」
玲奈 「シエフの欲張りペペロンチーノ」一つ。
薫 はい、「シエフの欲張りペペロンチーノ」お一つですね。
友美 ちよつと。
玲奈 何。
友美 フェアじゃない。
玲奈 は？
友美 どう考えてもこっちの方が長いじゃん。
玲奈 仕方ないでしょ。そうゆうパフェなんだから。
友美 十秒待ちなさいよ。
玲奈 十秒？
舞 ちよつと、二人とも。
友美 私が注文を始めて十秒経ってからそっちが注文して。
玲奈 十秒も待ってたらそっちが言い終わっちゃうでしょ。
友美 じゃあ七秒。
玲奈 駄目、三秒。
友美 五秒。
玲奈 三秒。
友美 駄目、五秒。これ以上は無理。
玲奈 何それ。それこそフェアじゃない。
友美 フェアだよ。
舞 ねえ、やめようよ。みっともない。

友美 うっさい。
玲奈 つかもう少し大人になりなよ。だから彼氏出来ないんだよ。
友美 それ今関係ないじゃん。
玲奈 てかホントは今日彼氏とデートの予定だったんだけど。
友美 だから「パフェ食べたい」って言い出したのは玲奈でしょ。
玲奈 固いなあ。頑固じじいは。
友美 前から思ってたけど、玲奈って我儘だよな。
玲奈 そう？ これが普通ですけど。
友美 どこが？ バカなんじゃないの？
玲奈 バカ？
友美 バカだよ。
玲奈 はあ？ どこがバカなのよ。
友美 パフェ食べたいって言っというて、責任も取れないとかバカじゃん。
玲奈 それくらい誰でもあるつつうの。
友美 ないわ、バカ。
玲奈 また言った。
友美 バーカバーカ。
玲奈 そんなバカバカ言わなくてもいいじゃん。
友美 お、泣くんか？ 泣くんか？
玲奈 泣くか、バカ。
友美 バカはそっちでしょ。
玲奈 それはこっちの台詞。

友美 はあ？
玲奈 もう分かった。
友美 何が分かったのよ。
玲奈 友美には何言っても分かんない。もう絶交だよ、絶交。
友美 いいよ。やっと意見が合ったじゃん。バカ玲奈。
玲奈 バカじゃないつつってんでしょ。ウチは責任取れるもん。
友美 取れてないじゃん。
玲奈 じゃあこのシェフはどうなんのよ。
友美 は？
薫 え？
玲奈 「おら、ナポリタンだけは作りたくねえ。」だよ？ どんだけ田舎もんだよ、どんだけ気まぐれだよ、どんだけ我儘なんだよ。
友美 …まあ、確かに。
玲奈 ウチが責任取れないバカだって言うなら、ここのシェフは大バカじゃん。
友美 だからって何なのよ。
玲奈 つか、そんなんだから客入ってないんだよ。
友美 てか、シェフがバカなのとあんたの話は…。
舞 (立って) もう、やめてよ。
友美 …舞ちゃん。
舞 …こんなことで友達なくしていいの？
玲奈 …え？
舞 たかがパフェで、たかがパスタで。

しばしの間。薫、この時だけ舞に視線を送る。

舞 あたし今、二人という時が一番楽しいの。

友美 え？

舞 高校入って、初めて出来た友達だから。

玲奈 舞ちゃん…。

舞 …あたし、流行とか、疎いからさ。

友美 うん。

舞 他の同級生達とは話合わなくて。不安だった。

玲奈 …ウチも。

友美 …私も。

舞 だから、二人が話しかけてきてくれた時、嬉しかったんだ。

玲奈 うん。

舞 今日だって、何食べたってあたしにとっては楽しい思い出になるの。

友美 …。

舞 なのに、たかがパフエで。たかがパスタで。

薫 …。

舞 あたしらの友情ってそんなんで壊れるもんだっただの？

玲奈 …。

舞 あたし、嫌だよ。そんなの。

しばしの間。

友美 舞ちゃん、ごめん。

玲奈 ごめん。

友美 私が小っちゃなことにこだわったせいで。

玲奈 ううん。ウチが我儘過ぎたんだよ。

舞 仲良く食べよう、パフエ。

玲奈 そうだね。それが目的で来たんだもんね。

友美 そうだよ。

舞 すいません。注文、いいですか？

薫 その前に。

三人 え？

薫 少しだけ、よろしいですか？

舞 …はい？

薫 うちの父を馬鹿にしないでもらえますか。

三人 え？

薫 ここは祖父の代から続く老舗です。

友美 はあ。

舞 じゃあ、もしかして、今厨房にいらっしやるのが…。

薫 父です。

三人 ……。

薫 父はこの仕事を誇りに感じています。

友美 ですよ。

薫 パフェもパスタも丹精込めて作っています。

舞 ですよね。

薫 そんな父をあなた方はバカと。

玲奈 …あ。

薫 その上、「たかが」パフェだの、「たかが」パスタだの。

舞 あ、あれは言葉の綾で……。

長い間。

三人 (立ち上がって) すみませんでした。

友美、舞、玲奈、頭を下げる。薫、微妙な間の後、上手へ足早にハケる。友美、玲奈、舞、緊張を解いて椅子に座る。

友美 向こうもこっちもね。

玲奈 でも、今日ウチらはパフェ食べにわざわざ来たんよ？

友美 そだね。

舞 喧嘩しただけで帰っちゃね。

友美 いっちょ、頑張りますか。

玲奈 うん。

舞 あ。

友美 何？

舞 雨、いつの間にか止んでる。

友美 ホントだ。

玲奈 ちやちやつと食べて、また降り出さないうちに帰ろっか。

友美 うん。すいませーん。

上手から何事も無かったかのように薫が出てくる。

友美 あの店員もいい迷惑だったろうねえ。

玲奈 そだね。でも、ウチらもいい迷惑だよ。

舞 まさか怒られるとはね。

玲奈 ウチ、親と先生以外に叱られたの初めて。

友美 私も。

舞 まああれは叱るつつうか怒ってたけどね。

友美 注文、どうする？

舞 気まずいよね。またあの人に注文するの。

薫 はい。

友美 注文お願いします。

薫 はい。

玲奈 頑張り。

舞 しっ。

薫 今度はお決まりですか？

友美 はい。今まですいませんでした。

薫 いえ。

友美　じゃあ、えつと…。

玲奈　「シェフの欲張りペペロンチーノ」一つ。
友・舞　え？

皆、ストップモーション。

溶暗。
幕。